

平成30年決算特別委員会

平成30年9月14日から25日まで、平成30年決算特別委員会が開かれました。決算特別委員会は、平成29年度の目黒区一般会計など歳入歳出決算の認定について審議するものです。

議員一人当たり62分間の持ち時間が付与され、その持ち時間内で各分野の歳入歳出について、その執行状況の適正さの確認や事業進捗状況など幅広くチェックします。

私が今回質問した内容のうち、目黒区で他の23区に比べ大きく遅れている小・中学校のICT（情報通信技術）化と、学校の改修にあわせた地域避難所の充実についてご紹介いたします。



◎ 小・中学校のICT（情報通信技術）化

文部科学省による「平成29年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（平成30年3月現在）」を見ると、目黒区の大きく遅れている現状が浮き彫りになっています。未来の財産である子ども達にはより高い水準の教育を受けさせるべきであり、この現状は早急に改善しなければなりません。

教育用コンピュータ1台当たりの
児童生徒数

小学校

目黒区 **8.3人**(20位/23区)
渋谷区 1.0人(1位/23区)

中学校

目黒区 **4.8人**(15位/23区)
荒川区 0.9人(1位/23区)

普通教室の電子黒板整備率

小学校

目黒区 **20.3%**(18位/23区)
港・品川区等14区 100%以上

中学校

目黒区 **94.7%**(13位/23区)
品川区等12区 100%以上

普通教室における
無線LANの整備率

小学校

目黒区 **0%**(最下位/23区)
港・墨田区等4区 100%

中学校

目黒区 **0%**(最下位/23区)
港・荒川区等7区 100%



目黒区は他区に比べ大きく遅れた状況になっており、子ども達の学習に支障を来す恐れが現実化している。小中学校のICT化は、新学習指導要領の全面実施に間に合うように進めているのか。学校のICT環境整備についての区の進捗を伺う。



国が定める達成水準のステージ1～4までのうち、渋谷区は既にステージ4達成、世田谷・太田・品川区はステージ3達成の見込みだが、目黒区は向こう5年の計画を実施してもステージ1の達成も厳しい状況。教育委員会としても何とかしたいと思っている。現在ICT教育計画を策定中で、その中で計画的に進められるものを示し、しっかり予算を付けて頂くよう努力していくので、是非ご支援をよろしくお願ひしたい。

◎ 地域避難所となる学校施設の機能充実



学校は災害時には地域避難所となる。特に体育館は多くの近隣住民が身を寄せることになる。今後の学校施設の改築・大規模改・学校の統廃合などの際に自家発電機を設置して地域避難所の災害対応力を向上させるべきであるが、区の見解を伺う。

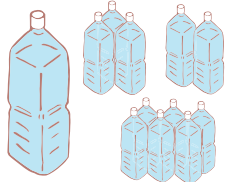


学校施設についても避難所の機能を持たせたようなというご意見はだいぶ出て来ている。そういった所の視点も大変重要となって来るので、新たな大規模改修の際にはそういった視点も踏まえて、避難時には避難場所となるというのを踏まえながら、どこまで整備できるかということはあるが、そういった視点を踏まえて実施していけるように取り組みを進めていきたい。

かなコラム

「長期間」の停電に備えましょう！

停電してもすぐに電気がつくと思っていませんか？長期間の停電は目黒区でも起こり得ます。東京湾北部地震(M7.3)発生時は、目黒区の26.3%が停電すると想定されています。日頃から1週間程度の停電に備えた準備をしておきましょう。



1日1人3ℓ。最低3日分、できれば1週間分は確保しましょう。

地震による停電の場合ガスが使えなくなることもあります。ガストボンベも忘れずに。

電池式のライトと予備の乾電池を常備しましょう。

スマホやガラケーは外部バッテリーを用意。乾電池式の方が安心です。

一万円・五千円札ではなく、千円札や小銭を3万円分程度用意しておきましょう。

<公式HP>



「目黒区の元気」でPC検索！スマホ版もあります！



<フェイスブック>



アプリありの方



アプリなしの方



<インスタグラム>



「小林かなこ Instagram」でPC検索！



小林かなこ プロフィール

○昭和52年4月12日生。山形県鶴岡市(湯田川)出身。羽黒高校(国際コース)、筑波大学(日本語日本文化学類)卒業。
○高校時代に米国留学。その時の決意から筑波大学・日本語日本文化学類へ進学。卒業後、米国の高校等で日本語・日本文化を教え、帰国後、米国の教育団体に11年間勤務し、主に日米の留学指導を担当。国会議員秘書で政治の基礎を学び、目黒区議会議員となる。
<所属>目黒区議会都市環境委員会 副委員長、自民党東京都連青年部・女性対策副委員長、目黒消防団第8分団、防災士ほか